

が、あれは最もよくない事だと思ひます、第一猫の衛生の上に甚だよくありません、殊に此時無し、の食事の癖がある爲に絶えず物を欲しがります、始めて牛乳の葛湯を與へます頃から、何時と何時といふ様に癖をつけて、其時間の外は決して何ものも與へないやうにすれば終ひには習慣性になつて了ひます

○それでは何時頃に與へるかと思ひますと、家庭によつて各々違ふ事でありませうが先づ一日に五度位やるがよいと思ひます、考へた方は三度位が可いと仰有るやうですが、寧ろ少々宛何度かに與へた方が宜しいでせう

○時間は前に申します通り家庭によつて違ひませうが、夜は必ず七時頃に一度與へる事にしたいものです、猫の方では夜中でも起きて居ますから随分とお腹も空きます、それなら十時頃に與へても可いやうですけれども、それでは鼠の番をしなくなり七時頃に與へて置きますと恰ど鼠が暴れ始めると一時二時頃に感てお腹が空いて來ますから自然鼠の番をするやうになります

猫のお腹は毎日洗はない家があります、あれは衛生上甚だ宜しくありません、最も酷いのは一週間に一度位しか洗はない人がある、那樣のは猫の爲許りでなく人間の爲にも不潔で見るからに悪感を催します、ですから猫の皿は食事毎に洗つて遣らなければなりません

○次に猫は至つて物を食べる事が下手でして屹度齧したり積したりします、元來猫は犬杯と違つて必ず食物を食ひ残す癖があるものですから、一度に澤山與へても食べ盡すといふ事がない、それ故食物は面倒でも少し宛五度位に分けて與へなければ不可いのです

種痘の心得

BS K 生

今年の四月に改正になつた種痘法は、愈來年の一月一日から施行されます、從來の規則よりも大層難かしくなつて迂かりして居ると罰金を食はねば

ならぬやうなことにありますから、人々が注意して居らねばならぬ大切な簡條を分り易いやうに左に記して見ませう

▲第一期種痘 一番最初の種痘は子供の生れた翌年の六月までに市區町村長から種痘の期日を指定する筈になつて居りますが、可成ならば生後百日位に近所の醫者に開ういつて植ゑて貰ふやうにする方が子供のために安全です、遅くとも指定期日までは假令市區町村長から知らせがなくても植ゑて置かねばなりません

▲第二期種痘 夫から二度目の種痘は數へ年の十歳になつた六月までに、これも知らせがなくても植ゑて置かねばなりません、開うして第一期、第二期とも醫者なり吏員なりから見せに來いと言はれた日に連れて行つて検診を受けて種痘済の證書を貰つて大切に保存をして置かねばなりません、又市區町村長から指定されるまでに自分で醫者に植ゑて貰つた時には善感不善感でも種痘をしたといふ證書を貰つて、之を市町村役場に届出ねばなりません

▲事績が有つた時 病氣其の傳の事故で種痘期日までに種痘することか出來ぬ時は其の理由を市町村長に届出た上猶豫證といふものを貰ひ、猶豫期間が過ぎてから三十日以内に受けると手續もあります、又第一期の種痘が不善感かつた時は翌年の六月までに更に植ゑなほして貰はねばなりません

▲監督者の義務 學校、育兒院等の生徒や院主や又教育、監護等のため自分の宅に預つて居る未成年者及び小僧下婢、子守等の雇人が數へ年十歳になつた時は其の監督者や雇主は第二期の種痘を受けさせるか又は保護者に督促して種痘の義務を終へさせるやうにせねばならぬ、尙是等のものを新に入院させたり雇入たりするときは種痘が済んで居るか否かを最初に調べて、若し済んで居なかつたら六箇月以内に必ずさせるやうにしなければなりません、夫れが二十歳以上のものならば雇主に責任はないが二十歳以下のもので其の手續を怠つて居ると雇主が罰金を科せられます、多數の工女を雇入れる紡績會社などは餘程注意をして居る

▲證書の提示 種痘證は大切に保存して置いて市町村吏員、衛生官吏、警察官吏などに見せろと言はれた時には何時でも見せなければならぬ、若し紛失をしたときには市町村長から證明を貰つて置くが宜しい

▲舊法と新法 改正前の種痘規則によつて種痘を受けたものは七歳までに種痘を受けたといふことが確に證明されれば第一期を終つたものと見做されます、それで十歳になつた時に第二期の種痘を受ければ宜しい、夫から八歳後に受けて居るものは第二期を終つたものと見做されますから改正規則によつて改めて受けるには及びません
▲お嫁さんとお髻さん 來年一月一日以後にお嫁さんやお髻さんを迎へたときに其のお嫁さんやお髻さんが未丁年者であれば親權者は矢張り種痘の濟未濟を調べて相當の處理をする義務があります
以上何の項でも違背すると罰金です

冬季と病氣

醫學士前田實氏談

▲夏は胃腸の病氣に罹り易く冬は寒胃、インフルエンザに冒され易いのが御定りになつて居ます、日本では十二月の末から一月二月が時候の一番悪い時ですから一般に用心をしなければ兎角病氣にとつかれ易いものです。

▲素人の方は寒胃もインフルエンザも混同にしてナニ一寸風邪をひきまして位で手當を怠るものから失敗ことか多いやうです寒胃といふ方は冷い風だとか温度の激變と外部の機械的刺戟の爲め身體に熱が出るのですがインフルエンザは之と全く別で微菌の爲めに病氣が発生するのです。
▲ですからインフルエンザの方は傳染病で其微菌が段々他人に傳播します一昨年と覺えますが我國では大變インフルエンザが流行しまして一家残らず床に就く御隣にも近所にも病人が出来るといふ風に恐しい勢で蔓延しました彼の時は日本ばかり